

デーリー東北

2024年(令和6年)10月1日(火曜日) (15)

八工大で田名部組の寄付講座

営業戦略や地域貢献語る

駒井専務(八戸酒造)が講師

八戸工業大の教育に田 回目となる27日は、八戸名部組(八戸市)が協力 酒造(同市)の駒井秀介 する寄付講座が9月から 専務が講師を務め、営業 始まった。「八戸地域の 戦略や地域貢献などの考 経営者に学ぶ日本の元 気は地方から!」をテ ーマに、計13回開催。2 年度に産学連携プロジェ



経営戦略などについて講義する駒井秀介専務

クトを結んでいる。寄付講座は2年生が対象で、社会人生活での知識として生かせるよう、同年度から後期授業で年13回開いている。

駒井専務は日本酒業界の現状、人気銘柄「陸奥八仙」のブランディング戦略や商品展開、有形文化財に指定されている蔵を生かしたイベント、観光客の受け入れなどについて紹介。「八仙を飲んだ国内外の客に、八戸に来てみたいと思ってもらえる酒造りをしていく」と強調した。

八仙とミルク工房「ボンサーブ」(むつ市)の飲むヨーグルトをブレンドした酒が、幅広い年代から支持を受け、客の幅を広げたといい、「日本酒に興味を持ってもらうため、八仙の酒や酒粕を使った商品開発に力を入れている」と語った。

(出川しのぶ)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。